問題 4 次のプログラムの説明を読み、プログラム中の に入れるべき適切な字 句を解答群から選べ。

「プログラムの説明]

商品マスタファイルの内容を変更ファイルの内容で更新し、新商品マスタファイル を作成する処理である。更新の種別は、次の3種類である。

種別(shubetu): 1 追加処理

新商品マスタファイルに変更ファイルのレコードを出力する。もし,商品マスタファイルに同じ商品コードのレコードが存在する場合は,エラー表示をする。

種別(shubetu): 2 更新処理

変更ファイルの商品コードと同じ商品コードを持つ商品マスタファイルのレコードに対して,変更レコードで置き換えたレコードを出力する。もし,商品マスタファイルに同じ商品コードが存在しない場合は,エラー表示をする。

種別(shubetu): 3 削除処理

変更ファイルの商品コードと同じ商品コードを持つ商品マスタファイル のレコードを新商品マスタファイルに出力しない。もし、商品マスタファイルと同じ商品コードが存在しない場合は、エラー表示をする。

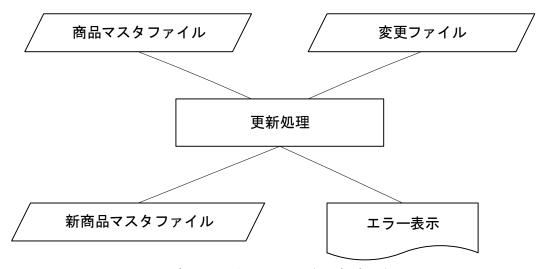


図1 商品マスタファイルを更新する処理

各ファイルは順編成ファイルであり、形式は次のようになっている。

商品マスタファイル (M_file)

|--|

変更ファイル (H_file)

商品コード	商品名	単価	種別
-------	-----	----	----

新商品マスタファイル (NM_file)

商品コード	商品名	単価
-------	-----	----

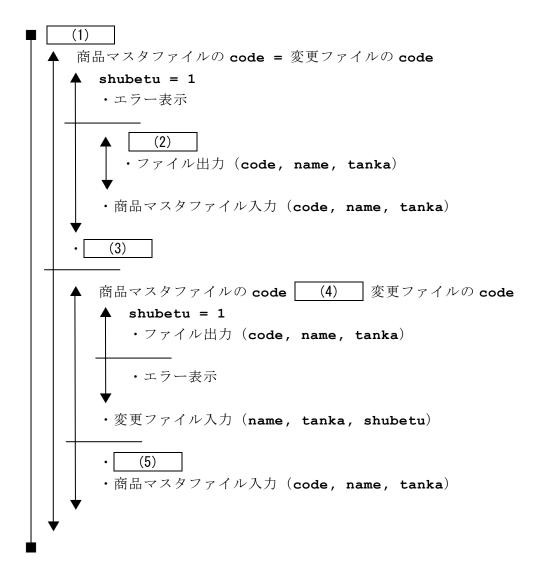
商品マスタファイル,変更ファイルとも商品コードの昇順に整列されており、各ファイルに同じ商品コードを持つレコードは存在しない。なお、商品マスタファイルと変更ファイルの最後には商品コードが '9999' のレコードがある。これはファイルの最後を表し、新商品マスタファイルには出力しない。

[疑似言語の記述形式の説明]

記述形式	説明
0	手続き、変数などの名前、型などを宣言する
・変数 ← 式	変数に式の値を代入する
{文}	注釈を記述する
▲ 条件式	選択処理を示す。
・処理 1	条件式が真の時は処理1を実行し,
1	偽の時は処理2を実行する。
・処理 2	
₩	
■ 条件式	前判定繰り返し処理を示す。
・処理	条件式が真の間,処理を実行する。

[プログラム]

- ○プログラム名:商品マスタの更新
- ○整数型: code, tanka, shubetu
- ○文字型配列: name
- ○手続:商品マスタファイル入力 (code, name, tanka)
- ○手続:変更ファイル入力 (code, name, tanka, shubetu)
- ○手続:ファイル出力 (code, name, tanka)
- ・商品マスタファイル入力 (code, name, tanka)
- ・変更ファイル入力 (code, name, tanka, shubetu)



(1) の解答群

- ア. 商品マスタファイルの code = 9999 かつ 変更ファイルの code = 9999
- イ. 商品マスタファイルの code = 9999 または 変更ファイルの code = 9999
- ウ. 商品マスタファイルの code ≠ 9999 または 変更ファイルの code ≠ 9999

(2) の解答群

 \mathcal{T} . shubetu = 1 \mathcal{T} . shubetu = 2 \mathcal{T} . shubetu = 3

(3), (5) の解答群

ア. エラー表示

- イ. 商品マスタファイル入力 (code, name, tanka)
- ウ. ファイル出力 (code, name, tanka)
- エ. 変更ファイル入力 (code, name, tanka, shubetu)

(4) の解答群

T. → *d.* = *d.* <